

## オーストラリア 新しい生食用ブドウ輸出支援プログラム

[PRODUCE PLUS 2024年7月30日](#)

### 生食用ブドウ協会は、変化する国際貿易要件に輸出業者が適応するための5年間のプログラムを主導

オーストラリアの生食用ブドウ産業は、生産者の強力で長年にわたる輸出ポジションを保護するための取り組みの強化に対し、新たな280万豪ドルの支援プログラムを獲得した。(1豪ドル=約100円)

ホートイノベーション(園芸産業のための非営利研究開発法人)を通じて提供され、オーストラリア生食用ブドウ協会(ATGA)が主導するこの5年間のプログラムは、同国の生食用ブドウ業界が変化する国際貿易要件に適応し、対応するのを支援する。

生食用ブドウ生産者の研究開発負担金を通じて資金提供を受け、オーストラリア政府からも資金支援を受けるこのプログラムは、過去20年間に業界の輸出の成長を促進してきた旧市場アクセスプログラムの強みの上に立脚している。

ホートイノベーションのブレット・ファイフィールドCEOは、この市場アクセスプログラムは生食用ブドウ業界にとって基幹的な投資であるとして、「この新たな投資は、従来からの確立した市場及び新たな市場における生食用ブドウ業界の地位を強化し、輸出量を維持し、段階的に増加させるという課題に対処するものである」と述べた。

同氏はまた、「オーストラリアの生食用ブドウの生産量と貿易量が増大を続ける中、このプログラムは、業界の輸出アプローチを保護する上で重要な役割を果たし、生産者が輸出機会を活用することを支援し、最終的には業界の継続的な成功を確保するものである」と語った。

ATGAのジェフ・スコットCEOは、過去の市場アクセスプログラムの成功を振り返り、この新しいプログラムの適時性と業界にもたらすチャンスを認識し、「この5年間のプログラムは、現在の輸出課題に対処し、生産者と輸出業者の将来のリスクを軽減することにより、業界の長年にわたる強力な輸出ポジションを維持し、強化することを目的としている」と述べた。

同氏はさらに、「生食用ブドウの生産と輸出には、常にリスクが伴ってきた。一方、国際市場の要件が変化する中で、教育、コミュニケーション、関係構築、戦略的計画、及び法令順守の活動を通じて、輸出における業界の地位を維持し、強化することが重要である」と語った。

生食用ブドウは過去10年間で目覚ましい輸出実績を築いており、輸出は2000年代初頭の3万トン(8千万豪ドル相当)から2019/2020年シーズンには15万2,500トン(6億2,300万豪ドル相当)に急増した。

輸出の増加にもかかわらず、業界は過去数年間、市場の不安定性、生産コストの上昇、厳しい気象条件などの課題に直面してきた。

ATGAはこのプログラムを通じ、輸出の準備を整え適応力を構築し、輸出基準順守の向上、市場アクセス条件の改善の提唱、市場情報の伝達、市場内関係の強化を通じて、市場への対応力を向上させるための取り組みを継続する。

執筆者: ブリー・カッジャーティ